

OASIS 8月

科学技術高校 相談室だより

第3号 2020.8.25

2学期がスタート

夏休みに、何をしましたか？

部活動が毎日あるから、進路のことがあるから。ましてや今年は3週間という短さで夏休みじゃなかったと感じている人など、様々だったと思います。でも、夏休み。いつもより自分のための時間が多く取れたのではないのでしょうか？普段したくてもできなかったことに、挑戦してみたものはありませんか？

ボランティア活動

本をひたすら読む

大学見学や、インターンシップに行く（今年はwebが多かったかな）

一学期にわからなかった科目に取り組む など。

“よし、〇〇に挑戦しよう！！！”

と、自分の目標を決めて、取り組むことは大事です。

夏休み、何かに挑戦することができなかった人。

1年生は、中学生気分から卒業して成長する2学期に。

2年生は、部活動でも日常でも、リーダーとしての自覚をもって引っ張っていく2学期に。

3年生は、進路実現につなげる2学期に。

長くなる2学期に悔いのないように、行動してみませんか。

夏休みが終わり、相談室も再開します。

1学期中に、たくさんの方が相談室を利用してくれました。

皆さんとお話ができ、うれしかったです。

夏休み中は、相談室はお休みでしたが、夏休みの出来事を話しに来てください。休み中に、こんなことがあったよーと、ぜひ聞きたいと思っています。待っています！

スクールカウンセラーの先生の相談日

石川 美智子先生（臨床心理士）

相談日 毎週 月曜日（月3回程度）

15:00～17:00くらい

8月 31日

9月 7、14、28日



私の高校時代（その1）

はじめに

先日、静岡工業高校 建築科の卒業生で在校中に芹澤圭介氏にも教えていただいたという、70歳を超える方を本校の3年生と一緒ににお訪ねしました。もう静岡工業高校はありませんが「後輩が話を聞きに来てくれた。」と大変感激されました。やはり、清水工業高校、静岡工業高校の卒業生の母校は科学技術高校で、「母校愛」とは特別なものだと感じました。私も歳を重ねるほどに母校を懐かしく思います。

#校舎

私の母校は、現在は新校舎ですが、当時はまだ木造でした。写真にもあるように2階建てで、赤い瓦屋根、廊下も階段も本校の倍くらいの幅があり、木の床はピカピカで、廊下は歩くと「きゅっきゅっ」と鳴る”うぐいす張り(?)”でした。

#部活動

女子校（現在は共学）だったからか、いつも何処からか美しい歌声が聞こえてきたような・・・そんなイメージがあります。合唱部は NHK 合唱コンクールの全国大会にも出場したことがある程で、私も密かに憧れていました♪◆◆*:. . . ◆◆◆* . . . *:. . . ◆◆◆*:. . . ◆◆◆*



昼休み、お弁当を食べていると上級生が教室に入って来て部活動の勧誘をします。ある運動部の先輩があまりにもステキ♥に見え、コロッと入部してしまいました。しかし、その時から地獄のような毎日が始まりました。ステキに見えた先輩は”鬼”と化し、顧問の先生は”閻魔大王”のようでした。（次回につづく）

#友人H

何しろ女子校ですから男子の目を気にすることもなく、のびのびと自由な高校生活でした。仲のよかった友人 H は、木造階段の手すりを上から滑り台のように滑り降り、よく先生に叱られていました。彼女はとても個性的な女子でした。校庭の樹に登って遊んだり、手作りでブランコをこしらえたり、私も一緒に隣の神社の銀杏を拾いに行ったのはいいものの、教室中に銀杏のクサイ匂いを充満させ大鬨蹙（ひんしゆく）だったのを覚えています。友人Hは英語が特に苦手で、いつも補習組でした。でも今は外国の大使館に勤めており英語以外の言葉も堪能です。その後の努力次第ということですね。去年の8月、帰国した折35年ぶりに再会しましたが、髪の色以外は顔も他も高校時代と何も変わっていなかったのが、思わず涙がでてきました。

#あこがれ

何しろ女子校ですから、男子生徒がいない分、身近な男性は必然的に先生ということになります。友人 H も私もあこがれの先生がいました。私は毎朝、あこがれの先生が来るのを2階の教室の窓から眺めておりました。英語の先生でしたが、発音は日本人っぽい発音で、それもよかったところでした。ある日大変なことが起こりました。あこがれの先生がなんと友人 H の家の隣の空家だった校長住宅に引っ越してきたのです。そこで私はあることを思いつきました。

（次回につづく）※次回は1月です

（文責：E.T）